

相模国分尼寺跡(海老名市)

ここが相模国分尼寺跡/前方の木々の辺りが金堂跡らしい/手前の道路の辺りから後ろが講堂跡になるようだ/南方向を見たところ



この辺りが金堂跡/基壇の名残りか若干地盤が高くなっている/右手に説明板が立っている



相模国分尼寺跡（金堂跡）

この寺院跡は、相模国分寺跡の北方約600メートルに位置しています。近年、寺域内の発掘調査が数次にわたって実施され、この金堂跡のほか、講堂跡と鐘楼跡の基壇の一部が確認されました。その結果、中門・金堂・講堂が南北に並び、講堂の両脇に経蔵と鐘楼がつく伽藍配置をとること、規模は相模国分寺より一回り小さいことがわかりました。また、金堂跡の確認調査では、基壇上から桁行5間・梁行4間の大規模な礎石建物跡が検出されました。

平成3年3月31日

海老名市教育委員会

南西側から金堂跡の高まりを見たところ/確認調査によると高さ1mの土壇として残り、基壇上には礎石15個が残存していたという



南東側から北西方向を見たところ/左手が金堂跡



北東側から南西方向を見たところ/前方の木々の辺りが金堂跡/現在は歴史公園として利用されている



金堂跡には庚申堂などが建っている





これが庚申堂



庚申塔が鎮座している/1666年の造立らしい



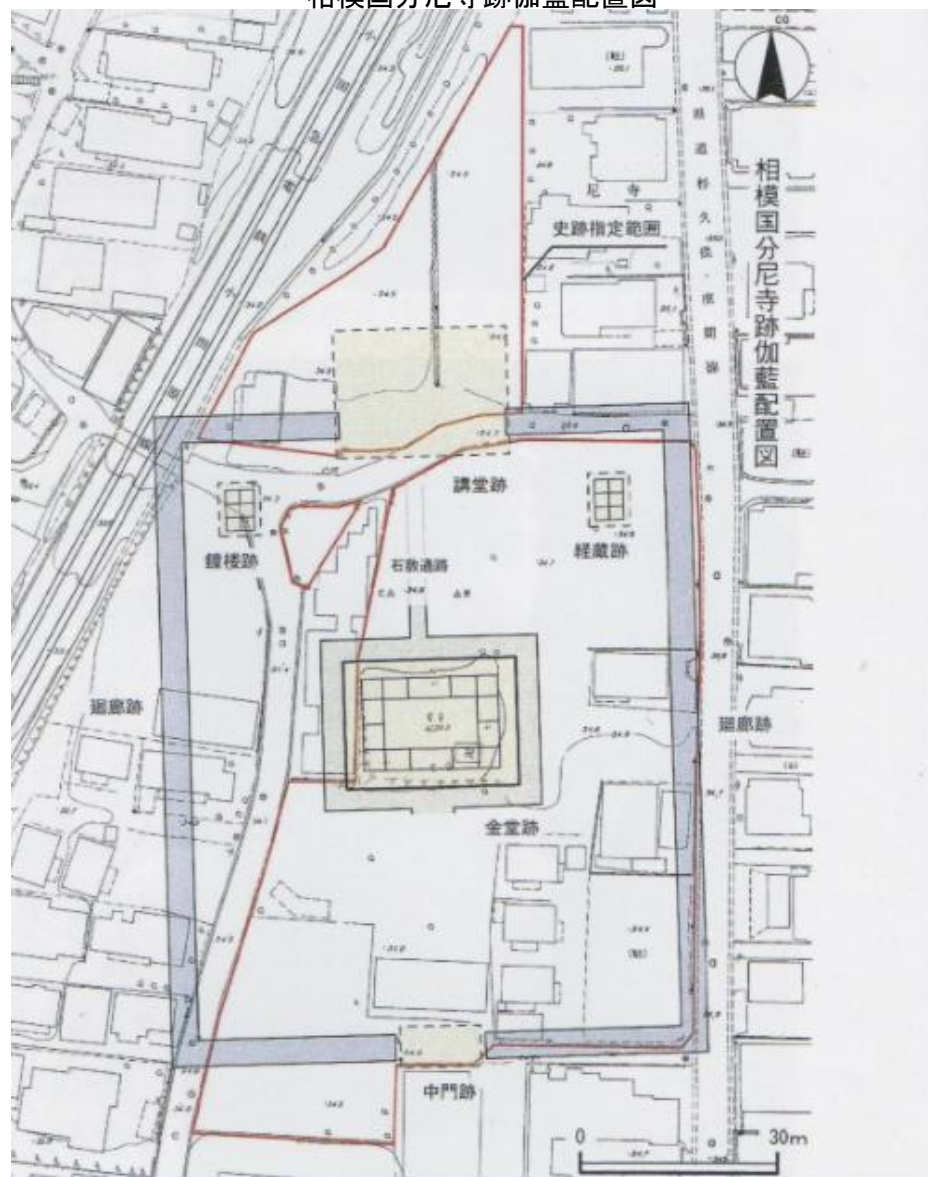
さまざまな石造物が立つ



傍に「國分尼寺金堂礎」と記された標柱も立つ



相模国分尼寺跡伽藍配置図



← 伽藍内には鐘楼(左)、経蔵(右)もあったようだ



史跡相模国分寺跡・尼寺跡 周辺案内図



「史跡相模国分寺跡 史跡相模国分尼寺跡」/海老名市教育委員会 より

参考ホームページ

<http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/201446>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2013/11/25/121348>

<http://4travel.jp/travelogue/10774791>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kanezane2/17831125.html>

http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/ispui/bitstream/2237/19773/1/%E5%8F%B2%E5%AD%A660_3_%E6%A2%B6%E5%8E%9F.pdf#search=%E7%9B%B8%E6%A8%A1%E5%9B%BD%E5%88%86%E5%B0%BC%E5%AF%BA%E8%B7%A1

